

# 郷音

山形県立産業技術短期大学校庄内校

【きょうおん】  
ふるさとの言葉づかい  
国なまりという意。



SHONAI COLLEGE OF  
INDUSTRY & TECHNOLOGY

SHONAI COLLEGE OF INDUSTRY & TECHNOLOGY

【教育振興会会報】 令和6年10月15日発行

第37号



IT会計ビジネス科では、1年次後期に首都圏への校外学習を実施しています。

この校外学習は、わが国の政治、経済、文化の中心地である東京に所在する企業・団体等の職場を実際に見学・視察することを通じて、ビジネスに関する学生の視野を広げるとともに、庄内地域をはじめとする地方都市の強みと弱みを再発見する機会を得ることを目的にしています。

令和5年度は10月12日（木）から13日（金）の二日間で、三菱UFJ信託銀行本店及び信託博物館、東京証券取引所、戸越銀座商店街を見学しました。

## 目次

ごあいさつ、夢と希望に燃える令和6年度入学生	P2
ごあいさつ	P3
会員企業のご紹介	P4
各学科の教育活動	P5～6
出場報告	P6
企業実習（体験記）	P7
卒業研究発表会テーマ一覧	P8～9

令和5年度進路状況、就職先企業のご紹介、 受賞に輝く卒業生	P10
令和7年度学生募集、 応援メッセージ寄稿のお願い	P11
新任教職員等紹介、 社会人向け公開講座のご案内	P12



## ごあいさつ

山形県立産業技術短期大学校庄内校  
教育振興会 会長 加藤 聡

山形県立産業技術短期大学校庄内校は、技術の進展が著しい現代社会に対応できる人材を庄内で育成してほしいという、私たち庄内の産業界の要請に呼応して平成9年に開校され、以来、卒業生は1,000名を超え、その多くが地元就職し、活躍いただいております。

このように、庄内校は私ども地元企業にとりましても掛け替えのない人材育成機関であり、将来性のある若い世代が高度な教育を受け、卒業後は即戦力として地元産業を支え、また、地域振興の担い手としても活躍されることを大いに期待しているところです。

会員の皆様には、学生の企業実習や校外学習などの実践的な職業能力開発への御支援を賜るとともに、卒業生の採用についても御尽力をいただき、感謝申し上げます。当教育振興会といたしましても、学生が地元企業に定着するよう働きかけていくとともに、庄内校の教育訓練活動への支援をはじめ、地元企業との交流・連携をとおり、地域産業の振興に寄与して参りたいと考えているところであります。

皆様には、今後とも庄内校への温かい御支援をお願いいたしますとともに、当会の益々の発展と会員の皆様の御健勝、御活躍を祈念いたします。

## 夢と希望に燃える令和6年度入学生



生産エンジニアリング科 須佐 遥大

将来、機械加工などを行う地元の製造業に就職したいと高校に入学してから考えるようになりました。高校が普通科だったため、そのまま就職ができたとしても仕事についていくのは難しいと思い産技短の生産エンジニアリング科に進学することにしました。入学前は授業についていけるか不安でしたが先生方がわかりやすく説明してくれるので不安が無くなりました。今は資格試験にも挑戦しようと思うようになり充実した毎日を送っています。



情報通信システム科 早坂 和真

私はこの学校で、今まで学んでこなかった情報通信分野を学びたいと考え入学しました。二年という短い期間の中で沢山のことを学んでいき、それらを生かして幅広い世代の人達が交り合い交流できるような物を作りたいという夢があります。そのためにも情報通信システム科で基礎から学び、実践的技術も身に付けられるよう、学習に専念していきたいと思っております。今はまだ分からない事も沢山ありますが、自分がやれることを考え行動し、苦手だった英語も空き時間を活用して学習しつつ、情報システムの知識やプログラミング技術を向上させ、資格取得も目指していきたいと考えています。



IT会計ビジネス科 須田 咲也

私が当校に入学した理由は、高校で習った簿記やパソコンなど、ビジネス分野の知識を深めたいと思ったからです。入学してからの学校生活は日商簿記3級を短期間で合格できたり、初めて知る知識に戸惑いながらも楽しく資格勉強に励んだり充実しています。授業でわからないところがあっても、先生に聞きやすく、丁寧に教えてくれる風通しのいい環境です。

この2年間で悔いがないよう多くの資格を取って、就職活動で活かせるように頑張りたいと思っております。



## ごあいさつ

山形県立産業技術短期大学校庄内校  
校長 佐藤 俊一

教育振興会の皆様には、日ごろから本校の教育・訓練活動、企業実習や就職支援など、多方面に渡りご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

お陰をもちまして、今年3月19日には第26期34人の卒業生が無事に学び舎を巣立ちました。これで平成10年度卒業の第1期生から通算で、世に送り出した卒業生は1,000人を超えました。そのおよそ7割が庄内地域に就職し、地元産業界の若き担い手として活躍しております。さまざまな教育関係者と話をしている、鼻が高いのは本校の就職率と地元定着率の高さです。この3月は最終的に就職希望者32人中31人の就職が決定し、うち実に26人(83.9%)が県内就職となっております。これもひとえに教育振興会会員の皆様のご支援の賜物です。

ただでも若者人口が減る中、学卒者の県外流出による社会減が大きな課題となっております。折しも、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、県外に向かう心理的バリアも緩んできたように思います。このような状況で、地元高卒者を受け入れ、2年間しっかりと高度専門技術を身に付けさせて、また地元にお返しするという本校の果たす役割は、手前味噌ながら決して小さくはないと考えております。

しかしながら、こういった社会的機能を発揮するためにも、安定した数の新入生が必要なのは言うまでもありません。こちらについては、残念ながら年々厳しさが増していると言わざるを得ません。この春は、生産エンジニアリング科5人、情報通信システム科9人、IT会計ビジネス科13人の計27人の入学でした。定員はいずれの学科も20人です。この背景には、産業技術短期大学校庄内校が、そしてその取組内容がまだまだ世間に知られていない部分が多いこともあろうかと思えます。

例えば、『月刊高校教育』（学事出版）2024年8月号に、庄内校と酒田光陵高校との5年一貫教育が、高大連携の特筆すべき好事例として特集記事になっております\*が、これを見るまでそのような実践があると知らなかったという声をこちらからお聞きしました。また、「開かれた学校づくり」の一環として、今年度から授業の一部を一般公開制（一般開放特別講話）にしておりますが、こちらはまだまだ知名度不足です。ちなみに、今年度第3回目の一般開放特別講話には、11月27日（水）に井上貴至山形市副市長をお招きしますので、会員の皆様も是非ご参加ください。そして何よりも、学生から満足度の高い、日常の親身な指導の様子が広く地域社会に知れわたることが最も重要であると思えます。

私どもも、学校説明会やオープンキャンパス等のイベントを通じてはもちろんのこと、折に触れ学校の周知活動には一層注力してまいります。会員の皆様にも引き続きご協力いただければ幸いです。

結びに、教育振興会のますますのご発展を祈念すると共に、本校に対する変わらぬご支援をお願い申し上げます、あいさつといたします。

\*和田希「専門高校の現状と取組—進学率の上昇にどう向き合っていくか—」（『月刊高校教育』2024年8月号、pp.22-25）



# 庄内クリエート工業

SHONAI CREATE INDUSTRIES

## 【会社概要】

創 業 昭和 52 年 4 月  
設 立 平成 2 年 2 月  
資 本 金 4,360 万円  
代 表 者 代表取締役 小田 秀一  
従 業 員 数 77 名(男性 66 名、女性 11 名)  
所 在 地  
本 社 : 山形県鶴岡市下清水字内田元 72-40  
藤島工場: 山形県鶴岡市藤浪 1 丁目 75-1  
大山工場: 山形県鶴岡市大山字向町 5-6  
U R L <https://www.s-create.jp/>



▲本社組立工場

## 【事業の特徴】

私たちは、工場や生産ラインの自動化・効率化に貢献するオーダーメイドの機械を製造しています。大量生産ではなく、お客様のニーズに応えられる他では見られない多種多様な機械の開発に取り組んでいます。

私たちが設計・製造した機械によって生産された製品は、日常生活のあらゆる場面で活躍しており、庄内クリエート工業の技術は私たちの生活を支えています。日本国内はもちろん、国境を越えてモノづくりを支える『縁の下の力持ち』として、世界中の人々の暮らしを豊かにしていきます。

## 【卒業生の活躍】

2023年入社してくれた庄内校の卒業生は、電気設計を担当し、制御盤設計やラダープログラムの作成業務に携わっています。

社内の充実したサポート体制のもとで、目標であった電気工事士の資格取得を達成し、日々新たな課題に挑戦し続けています。今後も成長を重ね、お客様の期待に応える電気設計チームの一員として、大いに活躍してくれることを期待しています。



# 各学科の教育活動・PR



## 生産エンジニアリング科

会員の皆さまには本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。就職関係では、昨年度（令和5年度）も就職率100%を維持することができました。今年度も8月末までに全員が内定をいただくことができました。これも皆さまのおかげと深く感謝申し上げます。お世話になる卒業生が、活躍する人材となっていくことを期待しております。

今年度は若年者ものづくり競技大会（フライス盤職種）に2年生1名が参加しました。4月に入ってから大会前まで放課後に練習を行いました。生産エンジニアリング科になってからの機械加工系の実習はCAD/CAMやNC工作機械が中心になっているため、ハンドル操作で加工する汎用機の操作には苦労していたようです。制限時間内に製品が完成し出来栄も悪くないと結果を期待していましたが、残念ながら賞をいただくことはできませんでした。この経験を無駄にせず将来就職先で活かしてほしいと思います。

1年生は校外学習として庄内地区の機械部品関連と電気部品関連の企業見学を行いました。後期に入ると1年生も就活が始まるため、企業見学を行うことで将来どのような仕事をしたいのかを考えてもらうきっかけになればと思っております。年度内にさらに企業見学を行う予定です。

2年生は後期になると卒業研究が本格的に始まります。個別に設定した各テーマについて取り組んでいきます。2月の卒業研究発表会には企業の方々をはじめ多数の方々をお迎えしたいと考えております。また、企業実習や展示会見学などの校外学習や地元産業展での展示などが控えております。会員企業の皆さまには、これまで以上のご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

## 情報通信システム科

教育振興会会員企業の皆様には、日頃、様々のご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。令和5年度卒業生も多く多くの学生が地元企業に内定をいただきました。これもひとえに会員企業の皆様方のご支援の賜物と感謝申し上げます。

2年生は、実践コース6名と基礎コース7名の合計13名です。早期に就職希望者全員の内定が得られるように学生と教員が一体となって就職活動に取り組んでおります。8月末時点で、既に10名が内定や内々定をいただいております。これからも全員が内定するまで活動してまいります。2年生は入学してから一ヶ月後の5月8日に、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、ほぼ制限のない学生生活を送っています。5月には体育祭で、学年や学科の枠を超えた学生間の交流を持ち、さらなる交流イベントとして、来たる10月23日には飛庄祭があります。また、その後は、卒業研究の活動が本格化します。それらの活動を通して、コミュニケーション力や技術力の向上をはかり、庄内地域で急速に進むデジタル技術の進展に対応できる人材の育成に取り組んでいきます。

1年生は9名全員が基礎コースとなっています。入学してから半年が経過し、この間、情報処理技術者試験への挑戦など、各自がそれぞれの目標をもって学校生活を送ってきました。1年生後期に向けて、実践コースに上がるべく、資格試験の合格に向けて頑張っています。また、知見を深め、様々な経験を積んでいくために、10月中旬に校外学習(CEATEC 2024、日本科学未来館の見学)や、11月に企業実習を予定しております。

これらの活動は、教育振興会会員の皆様からのご支援やご協力で支えられており、心より感謝申し上げます。今後とも、教育活動へのご理解をどうぞよろしくお願いいたします。

今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

## IT会計ビジネス科

平素より当科の教育活動にご理解・ご支援をいただきありがとうございます。この度は令和5年度の資格試験の合格実績を報告させていただきます。

企業会計分野におきましては、日商簿記検定2級に5名が合格しております。

日商簿記検定2級は連結会計を含む商業簿記に加え、工業簿記(原価計算)分野も出題範囲に含まれるなど企業会計に関して幅広い知識・スキルを身に付けることが出来る内容となっており、企業からの評価が非常に高い試験です。

当科では年3回実施のペーパー試験のみならず、毎月1度実施されるネット試験も有効活用し、複数の合格者を輩出することができました。

ビジネス情報分野におきましては、日商PC検定2級に累計で13名が合格いたしました。

日商PC検定は「文書作成」、「データ活用」、「プレゼン資料作成」の3分野について独立した試験として実施されており、2級は、企業実務に必要とされる実践的なIT・ネットワークの知識・スキルを有し、部門責任者(部門責任者を補佐する者)として、業務の効率・円滑化、業績向上を図るうえで利活用することができるレベル、とされております。

さらに、令和3年度より地域の産業構造に対応し、新たに医療事務分野をカリキュラムに加えましたが、当分野におきましても2名の学生が「医療事務技能審査試験」に合格し、メディカル・クラーク®(医科)に認定されました。

メディカル・クラーク®(医科)は、診療報酬請求事務業務や窓口業務など医療事務職として求められる能力を備えていることを証明する資格とされております。

令和4年度にメディカル・クラーク®(医科)に認定され、令和5年度に卒業した2名は地元の医療法人の総合事務職および株式会社の医療事務職として内定をいただき、現在就職先で活躍しております。

今年度も引き続き有用な人材を地元産業界に供給できるよう学生を指導していくとともに、教育振興会会員企業様をはじめとする地元企業の皆さまや地元の各組織・団体の皆さまと緊密に連携し、地域の課題に向き合ってまいりますので、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 第19回若年者ものづくり競技大会 第62回技能五輪全国大会職種選考会 出場報告

令和6年8月1日、第19回若年者ものづくり競技大会「フライス盤」に生産エンジニアリング科2年の菅原亜月さん、「ITネットワークシステム管理」に情報通信システム科2年の小島叶多さん、「業務用ITソフトウェア・ソリューションズ」に情報通信システム科2年の佐藤心羽さんが出場しました。

また、令和6年7月30日、第62回技能五輪全国大会「ITネットワークシステム管理」職種選考会に情報通信システム科2年の田村慎吾さんが出場しました。

残念ながら入賞はできませんでしたが、みなさん練習の成果を発揮し最後までやりぬきました。この経験が、今後の社会人生活に活かされることを期待しています。



菅原亜月さん



小島叶多さん



佐藤心羽さん



田村慎吾さん

# 企業実習

(昨年度の実績から)

学生が企業社会の実情に触れ、職業人としての自覚と学習意識の向上を図るため、3学科の1年生全員を対象に11月から2月にかけて企業の皆様のご協力を得て、企業実習を実施しました。

<令和5年度の実績>

## 実習先：株式会社石井製作所 生産エンジニアリング科2年 本間 悠太

私は今回、石井製作所に実習に行かせていただきました。実習内容は主に溶接でスポット溶接やワイヤー溶接をさせていただきました。溶接スピードが遅いと材料が溶けてしまい早すぎると逆に溶接がされていなかったりと、とても技術のいる作業でなかなか上手いきませんでした。上手い出来ないことがあった際は社員の方にコツを聞くなどして何度も練習し安定した溶接が出来るようになり、とてもやりがいを感じました。最終日は実際の製品になる部品の溶接作業でした。ミスができないという状況にとっても緊張しましたが社員の方々のフォローもありリラックスして作業に打ち込むことができました。

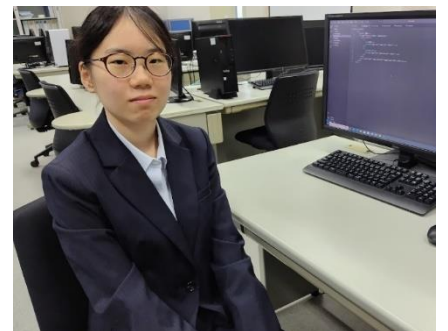


石井製作所さんはチームワークによる場の雰囲気の良いところがとても感じられました。そして社長さんと会話させていただいた際も従業員の人の良さには自信があるとおっしゃっていて実際に自分自身働いてみてその良さが本当に感じることができました。今回、企業実習を引き受けてくださった石井製作所の皆さん5日間本当にありがとうございました。



## 実習先：キューブワン情報株式会社 情報通信システム科2年 齋藤 菜希

私は、地域密着型IT企業のキューブワン情報株式会社にて、5日間にわたり企業実習をさせていただきました。PCやサーバーの機器構成からGoogle Colaboratoryを用いたAIモデルの作成など、実践的で専門的な体験させていただきました。また、自治体・医療機関と一般企業では、営業内容や開発手順に差異があり、本校では学ぶ機会が少ない公的な機関に向けた開発をするIT企業で必要となる要素を多岐に渡り暖かくご教授いただきました。



多忙の中、貴重な機会をくださりましたキューブワン情報株式会社の皆様には、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。



## 実習先：オリエンタルモーター株式会社鶴岡中央事業所 IT会計ビジネス科2年 上野 雛

私はオリエンタルモーター株式会社鶴岡中央事業所で企業実習をさせていただきました。主に総務課の業務を行い、業務内容は給湯室の片付けや備品の補充、社内用携帯電話の管理など他にも様々な業務を行い総務課は会社を支えるとても重要な部署だと感じました。今回の企業実習を通して、これからの社会で必要となるスキルを残りの学校生活で身に付け、これからの生活を有意義にしていこうと思いました。



オリエンタルモーター株式会社の皆様には、この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



(紙面の都合上、受入れいただいた企業への感想等全てを掲載できなかったことをご容赦ください。)

## 卒業研究発表会 『テーマ』 一覧《令和5年度卒業生》

令和6年2月21日、本校の大講義室等において、生産エンジニアリング科及び情報通信システム科の卒業研究発表会を開催しました。2年間の集大成として取り組んだテーマの要旨を掲載しています。詳しくお知りになりたい場合は、指導教員にお問い合わせください。

なお、卒業研究発表会の発表動画は、令和6年3月18日（月）から令和6年6月30日（日）までオンデマンドで配信しました。

### 生産エンジニアリング科

番号	テ ー マ	概 要	発表学生	指導教員
1	技能五輪全国大会「プラスチック金型職種」の金型製作	技能五輪「プラスチック金型職種」の課題となっている金型を製作する。今年度は本大会と同じように汎用フライス盤のみを使用する。	後藤 優太	多田 淳
2	数値制御フライス盤2級マニュアルの作成	技能検定数値制御フライス盤2級受検者向けのマニュアルを作成する。今年度は実技試験（製作等作業試験）にしぼり、課題製作に必要な技能がわかるマニュアルを目指す。	小林 雅文	多田 淳
3	表示器を用いた制御システムの製作	プログラマブルコントローラーによるシーケンス装置と視覚化、集約管理などを可能とする表示器をネットワーク(Ethernet)により連携した制御システムの構築を目指す。	佐々木優心	佐藤 義則
4	シーケンス制御作業2級マニュアルの改良	技能検定シーケンス制御作業2級を受験するにあたり、スムーズな知識習得と、多くの合格者を出すことを目的としたマニュアルの作成を目指す。	佐藤蔵之介	佐藤 義則
5	協働ロボット教育・開発支援環境の構築	ロボットシミュレータを用いて、協働ロボットの開発環境を仮想空間内に構築、ロボット学習をシミュレータ上で行い、また、オフラインのティーチングを学習する環境を構築する。	池田 真己	新居 徹哉
6	3Dプリンタによる複合構造部品の製作	3Dプリンタを用いて、より実用的な部品製作を行うために、各種素材を組み合わせ、既成部品と一体化する部品などの製作を試み、またその手法を確立する。	亀井 陽路	新居 徹哉
7	エコラン競技車両の製作	本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ全国大会出場に向けた車両を製作（改善）する。	松浦 華唯	津田 勇
8	教育用空気圧実験装置の教材作成	当研究室では、教育用空気圧実験装置を製作しているが、自作のため取扱説明書やテキストがないため、今年度は操作性の改善とテキスト教材を作成する。	渡部 敦貴	津田 勇
9	5Sの実践と改善に関する教材開発	実習場の5S実践、IE手法を用いた5S改善などを教材としてまとめる。	後藤 雅	飛田 成浩
10	大きい段差を乗り越えられる移動車両の製作	屋内でスロープが設置できない箇所や階段でも走行できる車両を製作する。	青野 潤	宮下 智
11	不整地走行車両の製作	農地など整地されていない路面で使用する作業用車両を製作する。	榎本 颯人	宮下 智



## 情報通信システム科

番号	テーマ	概要	発表学生	指導教員
1	気象庁 GRIB フォーマットデータの分析と地名による気象情報取得 API の開発	<p>気象業務支援センターを經由して提供されている気象データは、昨今の激甚気象災害を避けるためには不可欠かつ最重要なデータである。しかし、このバイナリデータである気象データは、GRIB2 と呼ばれる高圧縮な形式で配信されており、扱いが難しい。</p> <p>そこで、昨年度の卒業研究では気象データを扱いやすいように、データを解析して加工した。今年度は地名の情報を受け取るとその地域の気象データを返す API を作成し、この API を使用して詳細な地点の気象データを取得することが可能な Web アプリケーションを作成する。</p>	齋藤 智寛 熊谷 奏人 長谷川慎太 山口 泰雅	開沼 和広 三浦 彰人
2	LPWA 無線通信を用いた IoT による熊の検知と出没データ共有システムの開発	<p>近年の中山間地域の過疎化により、人の生活圏に熊がよく出現している。酒田市でも年間 200 件以上のクマ目撃情報を収集・公開しており、市民の生活への影響は看過できない状況である。</p> <p>本研究は、酒田市内の利用を想定し、本システムで検知した熊の警戒情報と酒田市の公開するクマ目撃情報を共有するシステムを開発した。</p> <p>LPWA(PrivateLoRa)通信で転送した屋外撮影機器の画像から、AI が熊を検知した場合、屋内ディスプレイや SNS(X: 旧 Twitter)へ警戒情報を発出する。また、この警戒情報と酒田市のクマ目撃情報を地図から確認できる Web サービスを提供する。</p>	阿部 広平 小松 瑛斗 阿部 夢叶 伊原 颯大	吉田 明弘 三浦 彰人
3	AI による姿勢推定を用いた体感ゲームの開発	<p>高齢者やケガ・病気療養している方が、適度な運動を必要としており、各所で運動をするモチベーションを高めるような取り組みがなされている。また、3D のテレビゲームは脳機能に良い影響があることが知られており、初めての人でもすぐに操作を習得できるゲームが求められている。</p> <p>本研究では、人間が映ったカメラの画像に対して、リアルタイムに AI (人工知能) を使用し姿勢を推定することにより、体を動かして操作することができる体感ゲームを開発した。このゲームを使用することで、楽しく適度な運動に継続して取り組むことができる。</p>	阿部 克嗣 齋藤 巽 高橋 広夢 長倉 歩志	芝田 浩 三浦 彰人

### ゼミナールのポスターセッション 《令和 5 年度卒業生》

令和 6 年 2 月 22 日、IT 会計ビジネス科のポスターセッション（成果発表）を実施しました。

卒業生全員が本校における学びの集大成として、各自の研究成果や在学中の資格取得に関する取り組みの内容をポスターにまとめ発表を行いました。



## 令和5年度卒業生の進路の状況

項目 学科名	卒業 者	就職 希望 者	就職 内定 者	地域別内訳						就職 内定 率(%)	進学 者
				庄内 地区	村山 地区	最上 地区	置賜 地区	県内 計	県外 計		
生産エンジニアリング科	11	11	11	10	0	0	0	10	1	100	0
情報通信システム科	12	11	11	9	0	0	0	9	2	100	1
IT 会計ビジネス科	11	10	9	7	0	0	0	7	2	90	0
計	34	32	31	26	0	0	0	26	5	97	1

### 就職先企業・進学先のご紹介（五十音順・敬称略）

生産エンジニアリング科	情報通信システム科	IT 会計ビジネス科
株式会社アサヒニイズマ	株式会社管理システム	株式会社エイアンドシー
阿部エンジニアリング株式会社	国際通信企画株式会社	Evand 株式会社
グリーンメタル株式会社	株式会社 JVC ケンウッド山形	TDK エレクトロニクスファクト リーズ株式会社
株式会社斎藤農機製作所	TDK エレクトロニクスファクト リーズ株式会社	株式会社トー屋
株式会社テクノ	東北エプソン株式会社	株式会社ニチイ学館
東北電機鉄工株式会社	株式会社日情システムソリューシ ョンズ	富士ソフトサービスビューロ株式 会社
東北東ソー化学株式会社	日本電設工業株式会社	医療法人健友会本間病院
新潟総合警備保障株式会社	PLC パートナーズ株式会社	マーレエンジンコンポーネンツジ ャパン株式会社
日特コーセイ株式会社	株式会社プレステージ・インター ナショナル山形 BPO パーク	株式会社山形銀行
	(進学)東北職業能力開発大学校	

## 受賞に輝く卒業生

令和5年度卒業式が3月19日に行われ、2年間の学業成績が特に優秀だった学生、卒業研究や学習へ取り組む姿勢、日常活動が他の模範となった学生6名が表彰されました。

山形県知事賞	情報通信システム科	阿部 広平
学校長賞	生産エンジニアリング科	亀井 陽路
	IT 会計ビジネス科	長永 千佳
教育振興会長賞	生産エンジニアリング科	渡部 敦貴
	情報通信システム科	長谷川 慎太
	IT 会計ビジネス科	木村 悠宇介



山形県知事賞を受賞する阿部広平さん

# 令和7年度入学生募集について

令和7年度入学生を募集しています。  
ものづくり、プログラミング、企業会計等に興味のある方への周知協力をお願い致します。

## 1 募集科・募集定員

生産エンジニアリング科	…	20名	
情報通信システム科	…	20名	〔 情報技術者実践コース（実践コース） 情報技術者基礎コース（基礎コース） 〕
IT会計ビジネス科	…	20名	

## 2 入学試験日程

	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
推薦入学試験	10月 7日(月) ～	11月 9日(土)	11月 14日(木)	11月 18日(月) ～
社会人特別入試（第1期）	11月 5日(火)			12月 2日(月)
一般入学試験（前期）	11月 11日(月) ～	11月 30日(土)	12月 5日(木)	12月 9日(月) ～
社会人特別入試（第2期）	11月 25日(月)			12月 23日(月)
一般入学試験（中期）	12月 2日(月) ～	2月 1日(土)	2月 6日(木)	2月 10日(月) ～
社会人特別入試（第3期）	1月 27日(月)			2月 25日(火)
一般入学試験（後期）	2月 3日(月) ～	3月 21日(金)	3月 25日(火)	3月 25日(火) ～
社会人特別入試（第4期）	3月 17日(月)			3月 28日(金) <sup>*1</sup>

※1 入学手続期間は、3月28日(金)12時まで

## 3 募集区分と試験科目

凡例：「数学Ⅰ／面接」（学科試験科目が数学Ⅰで、面接がある）

		生産エンジニアリング科	情報通信システム科		IT会計ビジネス科
			実践コース <sup>*1</sup>	基礎コース	
推薦	一般	数学Ⅰ <sup>*2</sup> ／面接	－／面接	数学Ⅰ／面接	作文／面接
	指定校	－／面接	－／面接		－／面接
一般	前期	数学Ⅰ／面接	数学Ⅰ／面接	数学Ⅰ／面接	小論文／面接
	中期				
	後期				
社会人特別		数学Ⅰ／面接			－／面接

※1 ITパスポート試験、情報セキュリティマネジメント試験、基本情報技術者試験のいずれかの合格者

※2 技能検定（3級以上）合格者は、数学Ⅰの試験免除制度あり

## 4 卒業後に編入学が可能な学校

(1) 山形大学工学部3年次（令和7年度入学～）

(2) 職業能力開発大学校応用課程

注 いずれも対象学科は、生産エンジニアリング科、情報通信システム科

## 「産技短庄内校への応援メッセージ」寄稿のお願い

本校では、企業の皆様からの学校・学生を応援するメッセージ（貴社の概要と本校卒業生の活躍、貴社に入社して活躍してくれることを期待する等）を募集しております。

頂戴しましたメッセージは、本校学生の就活講座や就職情報コーナーで情報提供するほか、高校生及びその保護者等にも発信し、本校及び貴社の効果的なPRに活用したいと存じます。

ご賛同いただける場合は、本校ホームページ「企業の皆様へ」のバナーから様式を入手いただくか、教務学生課へお問い合わせをお願い致します。

本校HP  
企業の皆様へ  
二次元バーコード



## 教 員



## 指導主幹（兼）教授【情報通信システム科】 間宮 明

4月より山形校より赴任してまいりました。ソフトウェア基本実習、システム設計実習、AI活用実習等ソフトウェアに関連した授業を担当してします。専門は、画像処理、画像認識、ソフトウェア工学になります。また、指導主幹として、出前授業や体験教室の取りまとめも行ったおり、事務との兼務となりますが、鋭意努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## 講師 【IT 会計ビジネス科】 佐々木 早苗

4月から IT 会計ビジネス科で秘書実務やコミュニケーション論を担当しております。専門は医療ビジネス分野であり、県外の医療事務専門学校での勤務を経て庄内校に着任いたしました。医療機関での勤務経験と専門学校での指導経験を活かしながら、学生の皆さんの実践力を高められるようサポートしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

## 事 務 局



## 教務学生主幹 音山 充徳

4月に最上総合支庁から赴任いたしました。これまで人事や組織に関わる業務経験が長く、学校での勤務は初めての経験ですが、会員企業の皆様方からの当校に対する期待や役割を意識しながら、まずは、一人でも多くの生徒に入学してもらえよう当校の魅力を周知するとともに、学生には必要な知識・技能をしっかりと身につけられるよう、そして地元や社会に貢献できる人材として送り出すことができるよう、自らの役割を精一杯果たしてまいりたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 社会人向け公開講座のご案内

産技短庄内校では、企業で働いている方々など一般の社会人を対象に、本校の特色ある講義を広く公開し、企業人としての専門分野や受け持つ仕事の内容に必要な技術・技能の習得、また職場における自己啓発等を支援するため、「社会人向け公開講座」を開催しています。毎年4月下旬に学校HPで募集開始しています。是非ご利用ください。  
※下記は、現在募集中の講座です。

ロボット基礎研修					
概要	人材不足の中、製造現場で多く活用されている産業用ロボットの基礎的な知識や操作を学習します。本研修を通じ、まずはロボットを知り、体験し、ロボットは何ができるかを基本的なことから学んで頂きます。	日時	11/16(土)、23(土) (9:00~16:00)	受講料	6,000円
対象者	企業においてロボットによる自動化を検討する方	講師	新居 徹哉	定員	5名
マシニングセンタ入門					
概要	マシニングセンタでの簡単なプログラミング（Gコード）を学びます。	日時	11/19(火)、22(金)、 26(火)、29(金) 12/ 3(火)、6(金) (18:30~20:30)	受講料	6,000円
対象者	新入社員またはこれからマシニングセンタを始めようとする方	講師	宮下 智	定員	5名

## 編集発行



山形県立産業技術短期大学校庄内校教育振興会

〒998-0102

山形県酒田市京田三丁目57番4号

TEL0234-31-2300・FAX0234-31-2770

## 編集後記

元日には能登半島地震とそれに伴う津波警報が発令され、その後も季節に関係なく各地で記録的大雨が発生。7月には酒田市などでも洪水被害が生じました。幸いに、学校や学生への直接的な被害はありませんでしたが、これまで経験したことのない自然災害への対応が必要になっています。会員の皆様におかれてもくれぐれもお気を付けください。